



平和首長会議ニュース

2020年1月 / 第121号

平和首長会議加盟都市数
163 各国・地域 7,861 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2020年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2019 の受賞作品が決まりました
- ◆令和元年度 平和首長会議青少年「平和と交流」支援事業の実施結果について
- ◆令和2年度 青少年「平和と交流」支援事業「HIROSHIMA and PEACE」の参加者を募集します
- ◆オバマ財団主催「2019 アジア太平洋地域リーダーズプログラム」に平和首長会議スタッフが出席しました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆加盟都市の活動紹介
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆2019年12月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,861 自治体

■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2019 の受賞作品が決まりました

平和首長会議では、行動計画(2017年-2020年)に重点取組事項として掲げた「次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育」の一環として、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを昨年度から実施しています。

2回目となる本年度は、6月3日から11月20日まで作品を募集したところ、世界21か国70都市の子どもたちから2,829作品の応募がありました。

応募作品は、各都市での審査を経て平和首長会議事務局に送付され、事務局における選定の結果、12点の入賞作品が決定しました。受賞作品は、受賞者が作品に込めた思いとともに、平和首長会議ウェブサイトで公開しています。

なお、平和首長会議会長賞を受賞した作品については、平和首長会議のPRグッズ(クリアファイル)のデザインとして採用し、平和教育の重要性についての認識を広げるための様々な取組で活用します。



平和首長会議会長賞を受賞した

イラン・シーラーズ市キアナ・ボルドバルさん(10歳)の作品

▼子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 2019 受賞作品(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2019_Art_Competition_result.html

=====
■令和元年度 平和首長会議青少年「平和と交流」支援事業の実施結果について
=====

平和首長会議では、平成 28 年度から青少年「平和と交流」支援事業を実施しています。被爆地広島で被爆者の体験や平和への思いなどを学び、相互交流を深めてもらうための事業に、国内外の加盟都市の青少年を招へいし、その経費の一部を支援するものです。招へい期間中には平和首長会議の取組の学習や意見交換も行います。

令和元年度に実施した 3 つの事業について、平和首長会議ウェブサイトにも事業報告及び参加者のレポートを掲載しましたので、ご覧ください。

①HIROSHIMA and PEACE (2019 年 7 月 30 日～8 月 9 日)

広島市立大学が実施する夏期集中講座で、世界中から集まった学生等が、「ヒロシマと平和」を英語で学び、討論するものです。

②青少年国際平和未来会議 2019 ヒロシマ (2019 年 8 月 4 日～12 日)

広島市及び姉妹・友好都市等の青少年による平和貢献をテーマにした交流活動です。

③ひろしま子ども平和の集い (2019 年 8 月 5 日～7 日)

平和記念式典参列のために広島市の内外から訪れた子どもたちが平和のメッセージを発信するものです。

上記の 3 事業に加え、1 月 30 日、31 日に国内加盟都市の若手職員を対象とした「ヒロシマ平和行政実務者研修」を実施します。

上記②以外の事業については、令和 2 年度も実施予定です。①HIROSHIMA and PEACE については、現在参加者を募集中です。③ひろしま子ども平和の集いについても、近日中に参加者の募集を開始します。

=====
■令和 2 年度 青少年「平和と交流」支援事業「HIROSHIMA and PEACE」の参加者を募集します
=====

平和首長会議では、「広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年『平和と交流』支援事業等の充実」を重点取組項目に掲げ、今後の平和活動を担っていく青少年の育成を推進しています。その一環として、広島市立大学で開講している夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」に加盟都市の青少年を招へいする事業を実施しており、現在、令和 2 年度の本事業参加者を募集しています。

なお、8 月 3 日から 6 日にかけて開催される第 10 回平和首長会議総会において、参加者の中の数名に、加盟都市と共に主体的に行っている平和の取組について発表してもらう予定です。

▼事業の詳細:

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2020_HAP.html

加盟都市の皆様におかれましては、募集に関して貴市区町村域内において幅広く情報提供いただくとともに、応募者を取りまとめる上、3 月 12 日(木)15 時まで必要書類を電子メールにて下記のメールアドレスまで提出してください。広島市立大学及び平和首長会議事務局で選考の上、4 月中旬を目途に選考結果を通知します。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

◎書類提出期限:

令和 2 年(2020 年)3 月 12 日(木)15 時

=====
■オバマ財団主催「2019 アジア太平洋地域リーダーズプログラム」に平和首長会議スタッフが出席しました
=====

[2019 年 12 月 10 日～14 日]

12月10日から14日までマレーシア・クアラルンプール市で開催された「2019アジア太平洋地域リーダーズプログラム」に、平和首長会議の広島事務局スタッフが参加しました。

このプログラムは、インドネシアやオーストラリアなど、33か国・地域のアジア太平洋地域の約200人を対象にオバマ財団が実施したもので、若いリーダーたちのスキルを高めることにより、彼らの活動に活力を与え、結び付けるとともに、積極的な新しい世代のロールモデルを育成することを目的として開催されました。

5日間のプログラムの期間中、バラク・オバマ前アメリカ大統領や同夫人、アジア最大級のLCCであるエアアジア・グループCEOのトニー・フェルナンデス氏等、様々な分野で活躍する人物による講義や、リーダーシップを育む方法について学ぶ様々なワークショップ、地域コミュニティでのボランティア活動の機会などが提供されました。

参加した広島事務局スタッフは、アジア太平洋地域の若いリーダーと意見交換を行うことにより、互いの価値観を共有するとともに、被爆の実相や平和首長会議の取組について紹介し、今後の活動に対する理解と協力を求めました。

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 63 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]
=====

米軍が広島に原爆を投下した 1945 年 8 月 6 日から同年末までの原爆犠牲者として広島市が名前を把握しているのは、2019 年 3 月末時点で 8 万 9025 人であることが分かりました。広島市が一般的に示している推計値の「14 万人±1 万人」と大きな開きがあり、被爆から 75 年近くがたっても相当数の死亡者が特定できていない実態が浮き彫りになっています。

広島市が把握している死亡者数は「原爆被爆者動態調査」に基づいています。市は動態調査と「14 万人±1 万人」の推計値を照らし合わせながら犠牲者数の実態を探っていますが、一家全滅の家族や朝鮮半島出身者、軍人などの犠牲者が見つかりきれていないとみています。

動態調査は被爆から 34 年後の 79 年度、原爆被害の把握へと動くよう政府に求める機運が高まっていた中で始まり、現在も続いています。52 年に建立した原爆慰霊碑の石室に納める市原爆死没者名簿のほか、国や県などの複数の関連資料を手掛かりに、生存被爆者と死亡者の名前を集めていますが、まだ道半ばと言わざるを得ません。

中国新聞は被爆 75 年の節目に、長期連載「ヒロシマの空白」を始めました。四半世紀を経てなお分かっていないことは何か。その「空白」を埋めるために、今まだできることは何なのか。原爆被害者の一人一人の尊厳を取り戻すためにも、その被害実態に迫ります。

関連記事は次のアドレスで読めます。

【ヒロシマの空白 被爆 75 年】

[埋もれた犠牲者名 どう把握](#)

[<1>「一家全滅」](#)

[<2> 全国調査の壁](#)

[<3> 幼い犠牲](#)

[<4> 「軍都」広島](#)

[<5> 学徒出陣](#)

[<6> 朝鮮半島出身者](#)

[<7> 北朝鮮の被爆者](#)

[<8> 白系ロシア人](#)

[<9> 検視調査](#)

[<10> 新資料](#)

[<11> 級友の消息](#)

[<12> 原爆孤児](#)

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

*フランス モワサック市
平和庭園を造設

フランス・オクシタニ州のモワサック市は白葡萄の産地として知られ、街並みや教会堂、修道院とともに市庁舎も美しい町です。地元の市民団体「平和の番人」の呼び掛けにより、昨年 12 月 1 日付で平和首長会議に加盟しました。

市民団体「平和の番人」は、広島・長崎の被爆者の平和への願いを若い世代に継承することを呼び掛けるとともに、石を積み重ねたオブジェの制作を通じ、「平和はこの石積みのように繊細で壊れやすいが、(壊れても)築き上げ続けていかなければならない」というメッセージをアピールする活動を行っています。

平和首長会議加盟に先立ち、このアート・プロジェクトを取り入れた庭園を市内に作り、10 月 24 日にオープニングイベントが行われました。暴風雨により石積みが崩れた際には、市民が自発的に修復を行いました。



モワサック市が市民団体「平和の番人」と共同制作した庭園
(写真提供: ミシェル・シボ氏)

▼庭園のオープニングイベントについて(フランス語、モワサック市ウェブサイト):

<https://www.moissac.fr/actualites/cadre-de-vie/lespace-dedie-aux-sentinelles-de-la-paix-inaugure/>

*フランス ラセラン村
平和公園のオープニングイベントを実施

フランス・オクシタニ州にある自治体ラセランは、昨年、石を積み上げて制作した「平和の番人」と名付けられた塔を設置した平和公園を市民団体「平和の番人」とともに作りました。

11月11日の「第一次世界大戦休戦記念日」に合わせて公園のオープニングイベントが開催され、住民の半数以上が参加しました。このイベントには、フランス平和首長会議(AFCDRP)を代表して、ミシェル・シボ事務局長と、同夫人でひろしま平和大使を務める美帆・シボ氏が参加しました。

参加者はまず、ノーベル平和賞受賞者の記念碑がある広場から新しくできた平和公園まで行進しました。公園のオープニングイベントの後、戦没者慰霊碑の前で子どもたちが平和の詩の朗読・合唱を行い、続いて美帆・シボ氏が広島・長崎の被爆者の詩を、アフリカの詩人が自作を朗読しました。

壁にジョン・レノンの「イマジン」の歌詞が書かれている文化センターでは、平和絵画展と子供たちによる平和の絵画・詩の展示が実施されました。また、フランスのドキュメンタリー映画「核爆弾と私たち」(La bombe et nous)が上映され、その後、映画のプロデューサーとミシェル・シボ AFCDRP 事務局長が参加者 100 名と討論を行いました。

ラセランの取組は、フランス公営テレビで大きく報じられたこともあり、全国的に注目を集めました。



石塔「平和の番人」のプレートには広島・長崎に原爆が投下された日が記されている
(写真提供:ミシェル・シボ氏)

=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

**「核兵器禁止条約」の
早期締結を求める署名活動に
取り組んでください**

**平和首長会議原爆ポスター展を
開催しましょう**

**「広島・長崎講座」の普及に
ご協力ください**

なお、2019年11月、ハノーバー市において開催された第11回平和首長会議理事会において、2020ビジョンの最終年である2020年に、行動計画に掲げている以下の3項目に重点的に取り組んでいくことが決定されています。

- ① 「核兵器禁止条約」の発効等の平和首長会議の目標の達成に向けた加盟都市の拡大
→具体的な取組については[こちら](#)
- ② 次代を担う若い世代の意識啓発を目指す平和教育の実施
→具体的な取組については[こちら](#)
- ③ 広島・長崎への受け入れを組み込んだ青少年「平和と交流」支援事業等の充実
→具体的な取組については[こちら](#)

=====
■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。いただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。

▼Email: rentai@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>



=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として「『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動」を展開しています。

平和首長会議に寄せられた「『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名」と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■2019年12月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、先月次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- * 12月3日(火) ダーク・ヘベカー UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)駐日代表
- * 12月10日(火) ピーター・タン・ハイ・チュアン 駐日シンガポール共和国特命全権大使
- * 12月11日(水) アンドレ・スピテリ マルタ共和国常駐特命全権大使
- * 12月12日(木) ジョセップ・マイヨラル スペイン・グラナダ市長
- * 12月18日(水) ピエール・フェリング 駐日ルクセンブルク大公国特命全権大使
- * 12月23日(月) レジス・サビオ 赤十字国際委員会駐日代表

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 各国・地域 7,861 自治体
=====

1月1日付で、7自治体が加盟し、加盟自治体数は7,861(163各国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

タイからチョンブリー県ドーンフワロー町が加盟しました。昨年7月から9月まで同町職員のシリマス・シッチョックさんが、広島市が実施するひろしま国際協力事業の研修員として来広された際に、松井市長から加盟要請をしたところ、同町の加盟が実現しました。

ドイツからアム・メレンゼー市など5自治体が加盟しました。平和首長会議副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けによるものです。

この他、イタリアから1自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2020/newmembers2001_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議・2020ビジョン推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp